

# 電子聴診器

(医療機器認証番号：229AFBZX00007000)

現代医療が急激な進化を遂げる中、医療診療のひとつである「訪問医療」が注目を集めています。高齢化や過疎化が進む地域で、通院が困難な患者のご自宅に看護師が訪問し、医師の診療時指示によって行われる「遠隔医療支援」を電子聴診器がサポートします。

## 【電子聴診器が遠隔医療支援に貢献】

医療現場で注目される在宅・訪問医療が進む中、看護師、介護士によるバイタルチェックを行い、異常があった場合には、遠隔にいる医師にデジタル通信でパソコン、タブレット、スマートフォンの画像データをリアルタイムに送信し、診断を仰ぐことが可能となります。



電子聴診器：JPES-01

## 【聴診音の録音・再生・送信が可能】

内蔵の無線システム(2.4GHz ISM)により、端末に自動送信した聴診音はイヤフォンなどの聴音デバイスの選択によって、録音・再生が可能です。また、パソコン、タブレット、スマートフォンなどにデータ送信し、解析への転用が可能になります。

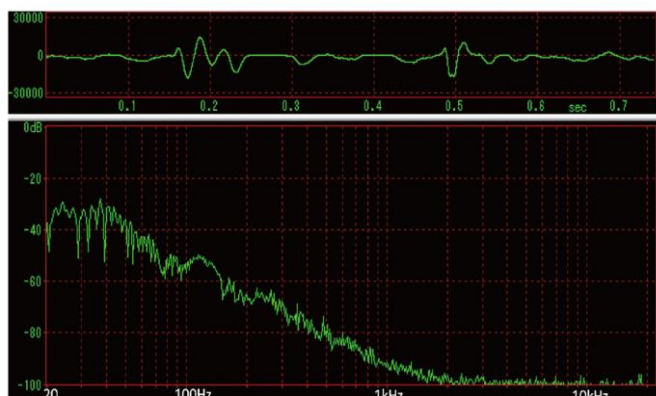
## 【高感度センサーを搭載】

圧電フィルムを使用した超高感度センサーと電氣的な増幅により、高音質な聴き取りを可能にしました。聴音時に市販のノイズキャンセリングヘッドフォンを使用することにより、あらゆる場所での聴診を可能にします。

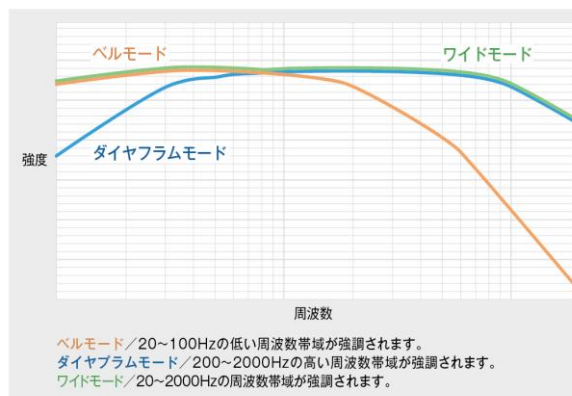


## 【微細な生体音をキャッチ】

音響インピーダンスが水（生体）に近い圧電フィルムを使い、体内で発生する微細な振動までキャッチできる音質設計により、ピュアでより正確な生体音の聴診を可能にしました。また、適切な周波数モードを選択し、心音、肺音、動脈音、腸音など体内音を増幅し診断できます。 フィジカルアセスメントの聴診診断において誰にでも使用が可能です。



聴診器収録イメージ（上:収録音データ、下:周波数解析結果）

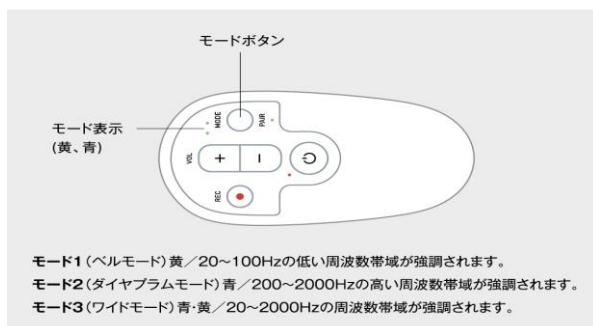


周波数モード切替イメージ

ベルモード/20~100Hzの低い周波数帯域が強調されます。  
 ダイアフラムモード/200~2000Hzの高い周波数帯域が強調されます。  
 ワイドモード/20~2000Hzの周波数帯域が強調されます。

### 周波数モードの選択：

最適な聴診音で診断できるように、3つの異なる周波数モードから選択することができます。

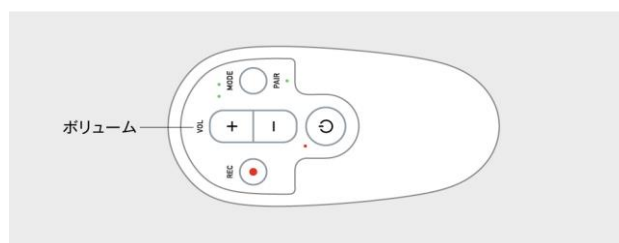


### 【ユーザビリティを追求】

医療従事者が使いやすいデザインで、新生児、小児、大人の患者にも使用できるように設計されています。操作性、イヤフォン装着性、堅牢製、更に可搬性を考慮した小型・軽量で持ち運び用にストラップかけを取り付けました。

### 音量レベルの調整：

音量変更は聴音部のボリュームを押して調整します。



### 製品仕様

電源	リチウムイオン電池内蔵	対応プロファイル	SPP
音声出力	ステレオミニジャック	外形寸法	115×52×37mm
無線通信方式	2.4GHz ISM (ハイレゾオーディオ転送)	重量	100g

認証番号:229AFBZX00007000



E-mail: [toiawase@milas.co.jp](mailto:toiawase@milas.co.jp)  
 URL: <http://www.milas.co.jp>

株式会社ミトリカ 営業マーケティング部  
 310-0843 水戸市元石川町雁原909-1  
 Tel: 029-306-7700 Fax: 029-306-9850